

福井で学び、福井で暮らす選択肢

Feel Fukui's Fun

福井の楽しさを
感じよう、伝えよう!

進路探究 ワークショップ

主催: 未来協働プラットフォームふくい

高校生が体験を通して将来の進路を考える

県内全ての大学・短大、高専と、自治体、産業界、医療界、金融界の各団体が連携して地域課題の解決を目指す「未来協働プラットフォームふくい」は2025年9～10月、昨年に続き2回目となる「Feel Fukui's Fun 進路探究ワークショップ」を開催しました。県内の高校生を対象に「建築と教育」「工学」「農業と経済」の3つのテーマで、県内大学や企業の専門性に触れる講義や見学等を実施しました。参加した高校生からは「県内の大学や企業への関心が高まった」との声が多く、将来の進路を考える貴重な機会となりました。

<p>福井県立大学 Fukui Prefectural University</p> <p>4つのキャンパスで徹底した少人数教育や企業・自治体と連携した実践的教育を実施。新学部新学科が次々誕生</p> <p>QRコード</p> <p>選べる学部学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済 生物資源 海洋生物資源 看護福祉 恐竜 地域政策 (2026年4月～) 	<p>福井大学 UNIVERSITY OF FUKUI</p> <p>教師、医師・看護師、技術者・研究者等の高度専門職や地域創生を担う人材を育成。就職率は国立大学で18年連続全国1位</p> <p>QRコード</p> <p>選べる学部学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療/看護 工学 教育 国際地域 	<h3>福井にある7つの大学と9つの分野</h3> <p>人文科学 社会科学 医療/看護福祉 理学工学 農学水産 家政 教育 体育芸術 国際地域</p> <p>福井県内の大学は、少人数教育による学生一人ひとりと向き合う丁寧な指導を大切にしており、医療、教育、工学、農学、経済といった幅広い分野を学ぶことができます。各大学が持つ専門性を磨くとともに、現場での実践的な学びを通じて、社会の多様なニーズに応えられる人材育成に力を入れています。福井独自の文化や産業、最先端の技術に触れながら、自分の志す道で活躍できるフィールドが広がっています。</p> <p>各大学のホームページはこちら</p> <p>QRコード</p>			<p>各大学のホームページはこちら</p> <p>QRコード</p>
<p>仁愛女子短期大学 Jin-ai Women's College</p> <p>就職に強い! 資格が取得できる! 実践的な学びができる! 充実した学生生活を送るなら「だんぜん、じんたん!」</p> <p>QRコード</p> <p>選べる学部学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活情報・デザイン 幼児教育 	<p>福井医療大学</p> <p>学びと医療現場が直結。チーム医療を実践的に学び、福井の医療に貢献する看護・リハビリ専門職を育成</p> <p>QRコード</p> <p>選べる学部学科</p> <ul style="list-style-type: none"> リハビリ・看護 	<p>敦賀市立看護大学</p> <p>応用看護3分野「救急・災害看護学」「在宅看護学」「地域看護学」から選択し、将来のキャリア開発に役立つ学習の機会を提供</p> <p>QRコード</p> <p>選べる学部学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護 	<p>仁愛大学 Jin-ai University</p> <p>県内唯一の文系私立大学。多様な資格で社会に貢献する人材を育成。2026年4月「ビジネスコミュニケーション学部」新設</p> <p>QRコード</p> <p>選べる学部学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理 健康・栄養 子ども教育 ビジネスコミュニケーション (2026年4月～) 	<p>福井工業大学 Fukui University of Technology</p> <p>工業系総合大学として、幅広い基礎知識と専門知識が身に付く環境が充実</p> <p>QRコード</p> <p>選べる学部学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 工学 デザイン・化学・バイオ 経営・情報 スポーツ 	

お問い合わせ: 未来協働プラットフォームふくい 実行部門会議 部門5「県内高等教育機関への進学等」(事務局/福井工業大学 入学センター 入試広報課 (TEL.0776-29-7871)、福井県大学私学課 (TEL.0776-20-0245))

2025年9月27日(土)

株式会社ジャクエツ(敦賀市)で開催

Architecture & Education FFF Workshop 1

建築と教育の学びを活かして、子どもが輝く『あそびの場』を創り出せ!

新聞紙での空間作りや模型制作、企業見学を通し「あそび」を本気で探究。遊びの環境を創る面白さや、仕事にも通じる遊び心の大切さを学び、笑顔と発見に満ちた充実した時間となりました。



1 講義&実習

福井大学の西本先生の実習では、子どもの基本動作36種類を組み込む模型制作を通し、建築視点の環境づくりを体験。仁愛大学の出村先生からは、環境が発達に及ぼす影響や身近な工夫への理解を深めました。自由に見える「あそび」の中に、成長を促す緻密な意図と、両分野の専門性が不可欠であることに気づかされました。



2 会社見学

続いて、遊具製作や空間デザインで全国展開するジャクエツを見学。世界的な賞を受賞した最先端の幼稚園設計事例に触れ、創業100年超の歴史が詰まったミュージアム「INUHARIKO LAB」や製造現場も訪問しました。伝統と革新が共存する「あそび環境」の最前線を肌で感じる貴重な機会となりました。



3 ワークショップ

最後はジャクエツオリジナルのワークショップを体験。限界の高さまで挑むブロック積みや、描く人が次々入れ替わる「似顔絵リレー」に、会場は笑い声に包まれました。全力の「あそび」を通し、仕事における遊び心の大切さや、失敗を恐れずチームで挑む共創の楽しさを、身をもって学びました。

参加した高校生からの感想① 進路選びの視野が



「運動しなさい」と言わなくても、思わず体が動いてしまう環境をつくる
福井大学 工学部 建築・都市環境工学科 准教授 西本雅人 先生



環境が変われば子どもの動きが変わる
仁愛大学 子ども教育学科 准教授 出村友寛 先生



参加した高校生からの感想②

福井に世界で活躍する企業があることを初めて知った

2025年9月28日(日)
福井工業大学、福井県立病院
陽子線がん治療センター
で開催

FFF Engineering Workshop 2

工学が医療をサポートする！大学の研究室から、がん治療の最先端へ！

放射線の「見える化」実習や治療センター見学を通し、医療を支える工学の役割を探究。
工学こそが最先端医療の「^{いしづえ}礎」だと実感する、驚きと知的好奇心に満ちた一日となりました。



10:15~



11:30~



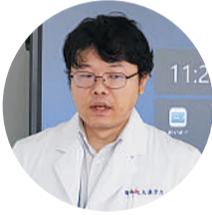
13:00~

1 講義 & 実習 A

福井工業大学の砂川先生の講義では、放射線の歴史や特性など基礎知識のレクチャーからスタート。放射線がん治療で確実に患部に放射線を照射するために放射線を「見える化」する砂川先生の研究開発内容を解説。実習では、放射線が照射されると色が変わるゲルを自分たちで試行錯誤しながら作りました。



命を救う最前線には、いつも工学という「最強のパートナー」がいる
福井工業大学 工学部
原子力技術応用工学科
教授
砂川 武義 先生



人間は放射線を感じられない。だからこそ正しく測定することが大事！
福井工業大学 工学部
原子力技術応用工学科
准教授
青木 祐太郎 先生



福井が、日本のがん治療をリードする
福井県立病院
陽子線治療研究所
顧問
山本 和 高 先生

3 講義 & 治療センター見学

午後は福井県立病院陽子線がん治療センターを訪問。山本先生より実際の治療計画を例に最先端の陽子線治療について解説を受けました。その後、普段は入れない施設の裏側で、治療を支える壮大な機械装置を見学。学生たちはその規模に驚きつつも積極的に質問し、医療技術の最前線に触れる貴重な機会となりました。

参加した高校生からの感想① 放射線への漠然としたイメージが、具体的な学びにつながった



参加した高校生からの感想② 壮大な機械を間近で見て驚いたが、もっと学びたくなった

2025年10月13日(祝)

福井県立大学 永平寺キャンパス、
福井精米株式会社(福井市)
で開催

FFF Agriculture & Economy Workshop 3

福井の米どころから探る！食と農で未来を創る挑戦

経済・科学・遺伝子の視点でお米を深掘りし、精米工場の見学や社員との本音トークで現場を体感。
多角的な学びとプロの情熱に触れ、福井で働く未来の解像度が高まる、実り多い一日となりました。



9:40~



13:00~



13:45~

1 講義 & 実習

午前中は県立大の3名の先生が登場。堀田先生から経済視点での農業の特性を、塩野先生から根の画像解析を用いた研究を学びました。三浦先生からはアミロース等の遺伝子が食感に与える影響を教わり、6種の食比べを実施。経済・生物・遺伝子の多角的な視点で「お米」の奥深さを体感しました。



お米の話題は経済の縮図。農業は食料生産に留まらない
福井県立大学
経済学部 教授
堀田 学 先生



根の探究が、気候変動対策になる
福井県立大学
生物資源学部
生物資源学科 教授
塩野 宏 克 先生



「おいしさ」も「収量」も、遺伝子がカギを握る！
福井県立大学
生物資源学部
創造農学科 教授
三浦 孝 太郎 先生

2 会社見学

午後は米穀卸の福井精米を訪問。公式Vtuber結稲みなもさんによる会社紹介に続き、3班に分かれて工場内へ。玄米から白米になる精米工程や品質管理室、倉庫を見学しました。普段は目にする事のない徹底された管理体制や設備のスケールに圧倒されながらも、お米を届ける企業の熱意と技術を学びました。

3 若手社員とのトークセッション

見学後は若手社員とのトークセッションへ。仕事のやりがいや福井を選んだ理由、大学での学びがどう生きるかなど、先輩のリアルな本音に触れました。年齢の近い社会人との対話はこの日一番の盛り上がりを見せ、自身の将来像を具体的にイメージできる熱気あふれる時間となりました。

参加した高校生からの感想①

「お米」を全く違う3つの視点から学べて、視野が広がった 福井精米株式会社



参加した高校生からの感想② 先輩たちの本音トークに共感。将来、福井で働く自分の姿がイメージできた